

平成27年度 横浜緑園総合高校 事故不祥事防止ゼロプログラム年度末検証

1 今年度の不祥事ゼロプログラム検証結果

(1) 不祥事ゼロプログラムの実施状況

年度当初に平成27年度不祥事ゼロプログラムを策定し、定例職員会議で周知した。重点目標は、①法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底) ②わいせつ・セクハラ行為防止 ③体罰、不適切指導防止 ④成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 ⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止) ⑥業務執行体制(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制) ⑦適正な経理処理、私費会計の適正執行 ⑧入学者選抜業務における事故不祥事防止 ⑨服務規律の確保とした。

(2) 重点目標の活動状況

- ① 公務外非行の防止(法令順守意識の向上)については、不祥事についての事例をいくつか挙げ、「不祥事ゼロ」職員研修を繰り返し、職員の日常的な意識喚起につとめ、未然防止を図った。
- ② わいせつ・セクハラ行為防止について、外部講師による不祥事研修を実施するとともに、風通しの良い職場環境づくりに努め、セクハラ、パワハラ、パワハラ、パワハラの未然防止を図った。
- ③ 体罰、不適切指導防止については、懲戒処分的事案を挙げ、部活動指導中における体罰・不適切行為の防止研修を実施し、全職員への注意喚起ならびに事故防止の徹底を図った。
- ④ 成績処理・調査書の発行については、成績処理、調査書・進路関係資料発行にあたりマニュアルに沿って業務を行い、確認・点検を行うとともに、高校教育課作成による定期テストに係る事故防止資料をもとに事故防止の徹底を図るための研修を行った。
- ⑤ 個人情報等管理、情報セキュリティ対策については、毎朝の打合わせや、職員研修での徹底を図り、各種届出の手順や個人情報の漏えいに関する事故防止資料を用いて研修を行った。
- ⑥ 業務執行体制については、日ごろの、点検体制を整え、合わせて職員間での声かけや複数での業務確認による事故の未然防止に関する研修の実施によって徹底を図った。
- ⑦ 適正な経理処理、私費会計の適正執行については、「私費会計事務処理の手引き」に基づき手順を徹底するとともに、財務事務調査での指導事項を確認し、改善を図った。
- ⑧ 入学者選抜業務における事故不祥事防止については、入選業務における事故事例を挙げ、事故の発生をいかに防ぐかという視点で事故防止研修を実施した。
- ⑨ 服務規律の確保については、教育公務員としての意識向上を図るための啓発資料を用いて実施した。

2 上記活動に対する校長の意見

「不祥事ゼロプログラム」については定例の職員会議を中心に研修会を実施している。また、日常から朝の打合せ等を利用し、事故防止について注意喚起を行うなど、教職員の不祥事防止意識を継続して啓発してきた。特に体罰・不適切指導防止においては、年間を通し職員間での情報共有を図りながら実施してきた。個人情報等の管理においては、教育委員会報告資料から教育課程関係の事案を挙げ、具体的な事例をもとに実施した。不祥事ゼロプログラムについては、マンネリに陥ることなく、教職員一人ひとりが「不祥事ゼロ」運動を自分の課題として取り組み、教育公務員としての高い意識持つように指導し、今後も不祥事ゼロプログラムを継続することとしている。